



四季の輝き

池田先生の心

広々とした緑の絨毯で覆れる島たち。1994年(平成6年)6月、池田大作先生がスコットランドのローモンド湖畔で撮影した。池田先生はこの訪英の折、チャールズ皇太子(現在の英国王)との会談や、グラスゴー大学名誉博士号の授与式に臨んだ。その間、SGI総会などに出席し、寸暇を惜しんで同志を激励、「最極の法理とともに生きる『永遠の軌道』の軌道」と呼びかけた。深き祈りを根本に、地球をも包むような境涯で幸の道を歩もう。(8月4日付)

祈りから希望への回転が始まる

■ 祈り・唱題は、小宇宙である自分自身を、大宇宙の根本のリズムに共振させゆく崇高な儀式である。御本尊へ合掌し、祈り・唱題する。その声は、すべての仏・菩薩、諸天神佛のもとに届いている。そして、目には見えないが、全宇宙の仏・菩薩、諸天神佛が、その人を守り囲んでいく。その「真ん中」に自分がいることになる。題目をあげるといふことが、どれほど、すごいことか。すべての仏・菩薩、諸天神佛が、味方になるのである。だから人類を救う力がある。救う使命がある。

■ 祈った瞬間から回転が始まる。闇が深ければ深いほど、暁は近い。祈りきった瞬間から、胸中に太陽が見える。「ホープ(希望)」。祈りこそが、希望の太陽である。悩みを感じることに、祈り、打開し、境涯を開いていく。これが、日蓮仏法の「煩惱即菩提」の軌道である。

■ 妙法の功力の基本は「冥益」である。祈った願いは、たとえ、すぐには目に見えなくても、必ず結果が顕れてくる。地下水も、いつか地表に出る。植えられた種子は、春の「時」を待って、花を咲かせる。大樹も育つには一定の時間がかかる。仏法は道理である。ゆえに「持統」が大切である。

■ 題目を唱える人は、何もかも恐れない。われらは何もかも恐れる必要がない。何があっても晴ればれと、希望に満ちみちて進んでいける。これほど幸せな人生はない。

※池田先生の言葉は順に、『池田大作全集』第90巻、同87巻、同78巻、同88巻から。

スペシャル付録

こねる感が
大人かわいい♡

SNOOPY™

BIGバッグ

© 2024 Plonets WorldWide LLC www.snoopy.jp

長い持ち手で
肩に
かけやすい!

オリジナルの
デザイン!

コスバ
最高!

生盛り
興味がブルー
がおしゃべり!

いつものお肉で
アガる!
肉おかず

マチが広くて
収納力
バツグン!

レタスクラブ

最新
12月
増刊号

KADOKAWA LifeDesign レタスクラブ公式サイト <https://www.lettascrub.net/>

※本誌は、株式会社KADOKAWA LIFEDesign により発行。本誌に掲載の情報は、本誌のウェブサイト上に表示されています。お問い合わせは、お近くの書店またはネット書店で。

なぜ、HG-IOIで 発毛促進するの だろうか?

●HG-IOIの150ml
は朝と夜に使用して
約2ヶ月使えます。
●男性も女性も使えます。

100%天然由来成分の杉、
松、オオバコのエキスが
頭皮に潤いを与え、セン
ブリ・ニンジンのエキスを
発毛を促進するからです。

HG-101の150mlを1本以上
初めてお買い上げの方に
夢見るシャンプーの
70mlを(令和6年11月まで)
プレゼント!!

夢見るシャンプーは、リンス
のいらない天然由来成分
100%のシャンプーです。

薬用育毛剤
HG-IOI
・30ml入り 1,400円
・150ml入り 5,700円
(医薬部外品)
(税別)ローラに初めて150ml
ご注文の方は送料無料で150ml
をプレゼント!!

左記のような
方におすすめます。
●抜け毛が多い。●髪が少ない。
●フケが多い。●頭がゆい。
●頭頂部が薄い。●髪が細い。

30mlも150mlも使い
やすいスリタイフ
から気になる部分に
ピンポイントで使えます。

0120-86-1261
059-345-1261
059-345-4164
www.HB-101.co.jp

ご注文はハガキか電話かファックスかインターネットで。
平日の午後4時までのご注文は、その日に発送致します。

ハガキ 59 7510-0855 三島市西四丁目3-39
(税別)ローラに初めて150ml
ご注文の方は送料無料で150ml
をプレゼント!!

電話 0120-86-1261 059-345-1261 059-345-4164
電話受付時間: 朝6時から深夜24時まで。(年中無休)お申し込みの時に「(R6-11増刊号)」と
お申し込みください。電話番号はお間違いのないようお願い致します。

ファックス 059-345-4164 24時間受付。(年中無休)
左の1カ所の1-800を置いて、ファックスしてください。ファックス番号はお間違いのないようお願い致します。

インターネットでお申し込みの方はこちらをご覧ください。コード番号241109
インターネットでお申し込みの方はこちらをご覧ください。コード番号241109

株式会社フローラ ●お支払いは、商品到着後の郵便振替かコンビニ払い、商品到着時の代引換(手数料無料)でお願いします。
〒510-0850 三島市西四丁目3-39 ●お支払いは、商品到着後の郵便振替かコンビニ払い、商品到着時の代引換(手数料無料)でお願いします。

池田先生と海洋冒険家・堀江謙一氏との交流

海洋冒険家の堀江謙一氏は2004年(平成16年)10月、単独無寄港の世界一周(東回り)に出発。翌年6月に帰港を果たした。氏と長年にわたって親交を重ねてきた池田大作先生は、この勇敢な挑戦に心からエールを送り、太平洋航海中の氏に、励ましの伝言をメールで届けた。今回、氏にインタビューし、当時の様子や池田先生への思いなどについて聞いた。(記事＝星田剛秀、山根信明 10月13日付)

学会員の向上心

1962年(昭和37年)、23歳の堀江謙一氏は、日本からアメリカまで、ヨットによる太平洋の単独無寄港の横断に挑戦。世界初の成功は大きな注目を集めた。続いて、74年(同49年)には、西回りの世界一周を成し遂げる。82年(同57年)には、縦回りの世界一周を達成。さらに2022年(令和4年)には、83歳という世界最高齢での単独無寄港の太平洋横断に成功した。

2004年(平成16年)10月1日、66歳の氏は、東回りで単独無寄港世界一周を目指し、兵庫・西宮市の新西宮ヨットハーバーを出発した。航海の途中で食料や燃料の補給を行わないことを意味する。過去にも東回りで世界一周に出発したが、途中でヨットが損傷し、断念した。池田先生は、氏の再びの挑戦を祝福。氏は「池田先生に守りついていたながら世界を回ることができた。これは

「聖教文化講演会」は、どの会場に行っても共通点があります。氏は、聖教文化講演会の講師を務めたことがきっかけで、1983年(昭和58年)3月、大阪での同講演会を担当。航海中のエピソードを交えての講演は好評を博し、その後、20年以上にわたり、全国各地の講演会で、講師を担当した。



堀江氏が聖教文化講演会講師として登壇。講演会では、航海中のエピソードを交えての講演が行われた。写真は、2004年10月、関西国際空港(左)で、池田先生と堀江氏との交流の様子。

雄々しく怒濤を勝ち越えよ！

戦つ相手は自分

単独の航海は、常に危険と隣り合わせだ。堀江氏は失敗も経験してきた。その経験が財産となり、航海を重ねること、たいていの不測の事態に立ち着いて対処できるようになった。困難に遭遇すると、「自分なら乗り越えられる」との自信がふつと湧き上がるといふ。

「人間は、誰もが恐怖を感じるものです。でも、人間は自分の恐怖を克服したいとも思っているのです。結局、人間にとつて一番やっかいなのは、自分自身です。まず、戦う相手は自分です。何かの困難にぶつかったら、この先にはもっと大変な困難があるに違いないと想像して尻込みしてしまう。自分

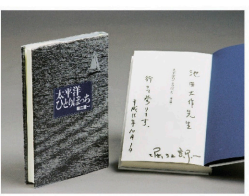
これまで気にかけてくださるのとか感謝しました。やりとりを通して、分かたことがありますが、池田先生の誠実な振る舞いという手本を、学会員の皆さんは、いつも学んでいるからこそ、向上心にあふれ、講演会の際のスタッフのような運営ができるのだ、と」

ヨットの主な動力源は風だ。風を受けて帆を操作し、船を進めるため、航海は天候に大きく左右される。時には、嵐が船体を激しく揺れ、転覆してしまうことも。10月の出発後、最初は好天に恵まれていたが、次第に嵐は荒れ始めた。数日、激しい揺れが続いた。嵐が過ぎ去った後の12日、堀江氏は先生宛てのメールを送った。

「大海原を航海している、夜の天空に、満天の星が輝く時があります。海が静かで波が少ないうちは、海の表面にも星が映り、美しく輝きます。それだけでなく、私が乗っているヨットのソーラーパネルにも星が映る。空に星、海に星。上から下まで、辺り一面が星で埋め尽くされます。その景色があまりにも幻想的で、感動とともに、『順調に航海しています』と池田先生にお伝えしたことを覚えています」

「目標に向かって、真つすぐに進めるのがベストです。しかし、現実はそのうまうまはしません。現実がそうなるから進んでいく。でも、だからこそ、進むのを大切にすること。そうすれば、いずれは必ず目標に到着します。そう考えると、少しの前進でも、とても楽しくなります」

氏は現在66歳。今の目標は「100歳で太平洋を横断すること」だといふ。池田先生はかつて、氏の活躍を本紙で紹介し、「若々しい心。不屈の意志。まさに『挑戦王』である」と心からたたえた。嵐のような困難に遭遇しても、闘志を燃え上がらせて航路を切り開く。夢に向かい、未来に向かって、一歩また一歩と忍耐強く前に進む。その不屈の歩みが、人生に勝利の航路を描いていく。



「池田大作先生、行って参ります」との献辞が記された堀江氏の書籍『太平洋のぼっち』

環境クリエイターって、どんな人？



空間空間 クリエイター



カーボンニュートラル クリエイター



クリーンエア クリエイター



スペースライフ クリエイター



まちづくさくクリエイター

高砂熱学には、あたらしい空気を生み出す、さまざまな人がいます。人々のくらしをつつみ、つないでいく。その空気も、それをつくる人の姿もみえない。だけど、感じることもできる。ほら、深呼吸をするたびに。空間で培った技術で、その仲間をこえて。私たちは、人に、社会に、最適な空間を生みだしています。

環境革新で、地球の未来をきりひらく。

環境クリエイター®
高砂熱学



HSC(人一倍、敏感な子)や不登校の子どものための居場所「つむぐ」代表の武藤さん。子どもにはら成る方が備わっている」と書いています。

HSC(人一倍、敏感な子)・不登校の居場所づくり

【神奈川県茅ヶ崎市】「うちの子どもたちも必ず、学びたくなる時が来るはずだ」。10歳の息子を筆頭に、3人の不登校の子育てに励む、武藤夏子さん(45)＝副白ゆり長。多くの育児書を読む中で、わが子がHSC(人一倍、敏感な子)であることに気付いた。学校のような集団生活が苦手。ならばと、武藤さんは昨年、自宅を開放し、HSC・不登校の子どもたちのための居場所「つむぐ」を立ち上げた。(9月30日付)

「HSC」とは、Highly Sensitive Childの略語

長男・大城さん(10)「小学校4年」の起床は、いつも午前8時。続いて長女・妙さん(5)が目覚めますが、次男・光城さん(7)「小学1年」は、まだ布団の中。夜更かしが大好きな少女お嬢坊さん。3人とも、起きると、まずは朝食よりゲームが先。パソコンやタブレット端末で遊び。武藤さんは「遊びも学びだから、好きなことをしているよ」と伝えています。

HSCの子育ては、その子のペースを尊重することが大原則といわれる。人一倍の安心感が必要なのだ。

「つむぐ」でも、武藤さんには不登校の子どもに同じ接し方を、「私は口出しせず、本人がやりたいことを手伝います」。子どもたちはゲームや工作、料理のほかにも、漫画を読んだり公園で遊んだり、思い思いに楽しく過ごしている。

「学校に行きたくないけれど休んでもいい。勉強は大事ですが、学びたいという気持ちが一番大切なんです」。

不登校だった児童・生徒の成長体験を数多く学んできた。「1人1人自身のやり方

「自由に生きていいんだよ」

ことをすると、子どもは興味をもった分野を自ら勉強し始める。人間は本来、学びたい生き物なんです」。

武藤さんが小学生の頃、好きで始めたものは、体操だった。跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目。楽しく続けていたが、高校生の時、練習中に左肩の軟骨を損傷。「回復を祈る母を見て、自分も祈ろうと決心しました。リハビリに励み、大会出場できるまでに回復。体育大学に進学できたことが、信心の確信につながった。

女子学生部時代は、幾度も池田先生との出会いが。師が



子どもフェイス
上から左へ
武藤さん一家
の長女・妙さん、
次男・大城さん、
長女・光城さん

「これを見て、以前に研さんした観心本尊抄の一節が、「観心とは、我が己心を観じて云々なり」(新125・全240)。「私の心にある仏界を信じ、自分らしい生き方を見つけてよう」。

この思いは、結婚し生まれたばかりの長男にも注がれた。気付くと、うつめの症状は無くなっていた。

長男が2歳の頃、夫・豊さん(45)「地区部長」が機械設計の会社を設立し、武藤さんは仕事を手放すことに。大城

を唱えた。
「観心とは、以前に研さんした観心本尊抄の一節が、「観心とは、我が己心を観じて云々なり」(新125・全240)。「私の心にある仏界を信じ、自分らしい生き方を見つけてよう」。

この思いは、結婚し生まれたばかりの長男にも注がれた。気付くと、うつめの症状は無くなっていた。

長男が2歳の頃、夫・豊さん(45)「地区部長」が機械設計の会社を設立し、武藤さんは仕事を手放すことに。大城

人間は本来、学びたい生き物

不登校で始まった長男の小学校生活。夫・大城さんと、少し意外な答えが返ってきた。

「素直でいいな」

小学生の頃、「自分も学校が好きでなかった」と豊さんが。でも通わなければいけない社会のプレッシャーに、知らず知らず屈していたのか。と。自分らしく生きる長男を応援したいという。

「つむぐ」がオープンすると、市外からも子どもが緊張した面持ちで母親と一緒に現れた。子どもは不登校だった。そんな相手の心をくみ取るのが上手な、HSCの特性の一つ。「長男は初めての人も、仲良く遊ぶのが得意



励ましの中で女性部の同志のもとへ

意なんです」と、武藤さんはほほえむ。

かつての不安は希望に変わり、「将来が楽しみ」とも。長男は近頃、ものづくりに興

を保育園に預けようかしら」。

初めは順調だった。だがすぐに、行き渋るようになり、やがて嘔吐が頻りに出る。嘔吐し、退園を余儀なくされた。

「何か障がいがあるようには思えない」。武藤さんは育児書を読みあさり、目に留まったのが、HSCだった。

「これでは、」

感受性が強く、場の空気や人の感情を敏感に感じ取るHSCは、学校のような環境が疲れやすい。ただ病気が障がいではなく、生まれつきの特性。5人に1人の割合で該当すること分かった。

とはいえ、「次男も生まれ、仕事と育児を自宅で同時にやろうのは難しい……」。長男とのフタリが続いた。

「幼稚園に行つて、行かない」

6歳の秋には、いちの望みランドセルを購入。来年は、小学校に行つてくれたらいいな。しかしその思いは打ち砕かれ、入学式から欠席だった。

この過程があったからこそ、わが子の居場所づくりから家でやろうと腹が決まったんです」。

自宅で「友達がほしい」と漏らす長男を見て、ある言葉が頭をよぎる。それは師の教育観。「『社会のための教育』ではなく、『教育のための社会』でなければならない」。

「つむぐ」の理念が定まった。

技術がアートになる日



つばさ橋 (カンボジア)



三井住友建設

<https://www.smcon.co.jp>

商品番号をお伝えください。■受付時間／AM8:00～PM11:00 (株)快速生活 〒550-0001 大阪市西淀川区
0120-188-78
 お申し込み日より1週間前後、天候等の事情により遅れが発生する場合がございます。●お支払方法 代